

『RSウイルス感染症』が全国で増えています

乳幼児の代表的な呼吸器感染症であるRSウイルス感染症は、かぜ症候群として毎年冬季に流行しています。年齢を問わず、感染を繰り返し引き起こしますが、成人などでは鼻かぜ程度の軽い症状ですむ場合が多い感染症です。

- 症状**
- ・乳幼児の半数以上が1歳までに、2歳までにはほぼ全員が感染します。
 - ・4～5日の潜伏期を経て、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が現れます。重症となれば細気管支炎や肺炎などの「下気道疾患」を起こし、肺胞につながる細い気管が腫れて、呼吸が苦しくなります。
 - ・1歳未満、特に6か月未満の乳児や、心肺に基礎疾患を有する小児などでは、重症化して気管支炎や肺炎になり、呼吸困難など重篤となる場合があります。
 - ・発熱は38度から39度くらいになります。
- 感染経路**
- ・患者のせきなどからの飛沫感染やだ液などの呼吸器からの分泌物に汚染された手指や物を介した接触により感染します。
- 予防方法**
- ・外出した後の手洗いとうがいを徹底してください。
 - ・接触感染の予防には手洗いが、飛沫感染予防にはマスクの着用が有効です。

小さなお子様をお持ちの保護者の方へ

- ※このウイルスは感染力が強く、免疫ができにくいため、再感染を繰り返します。
- ※お子様にたんが詰まったり息がゼイゼイと鳴る、1分間の呼吸数が多くなるなどの症状が見られたら、お早目にお近くの医療機関を受診させてください。

RSウイルスは誰でもかかる病気ですが、重症化することはありません。冬から春にかけて流行する人が多く、乳児にその感染をうつさないことが大切です。

発生状況等については静岡県感染症情報のホームページ

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

問合せ先 健康増進課健康づくり係 ☎2217

12月は

「消費者被害防止月間」

悪質商法は、あなたの心のすきまにつけこんでいきます。

特に、年末のあわただしいときは心にゆとりがなくなり、トラブルにまきこまれる危険も高まります。

この機会に、消費者トラブルへの関心を高めていただき、消費者トラブルへの免疫をつけましょう！

消費生活相談（直近相談日）

日時 12月3日（月）・13日（木）・25

日（火）午前10時～午後3時

場所 市役所第3委員会室

静岡県多重債務者相談ウィーク

消費者金融などに多額の借金を抱えてお困りのみなさま、専門家に相談して生活を立て直してみませんか？12月13日の消費者生活相談は多重債務者相談重点日です。また、静岡県では多重債務者特別相談を左記のとおり開催します。

日時 12月10日（月）午後1時～4時

場所 静岡県下田総合庁舎2階

問合せ先

産業振興課産業振興係 ☎23914

東部県民生活センター ☎242199